

2 決算の状況

(1) 市町村及び国保組合

ア 決算の規模

令和4(2022)年度の県全体での決算の規模は、歳入総額が2,249億387万8千円で前年度より52億2,850万2千円(対前年度比2.27%)減、歳出総額が2,147億6,461万4千円で前年度より55億5,796万2千円(対前年度比2.52%)減となっている。

このうち、市町村保険者については、歳入総額が1,991億738万4千円で前年度より56億5,496万8千円(対前年度比2.76%)減、歳出総額が1,941億9,006万7千円で前年度より57億9,407万円(対前年度比2.90%)減となっている。

イ 決算収支

(ア) 収支差引額

歳入総額から歳出総額を差し引いた収支差引額は、101億3,926万4千円となっており、前年度より3億2,946万円(対前年度比3.36%)増となっている。

このうち、市町村保険者については、49億1,731万7千円となっており、前年度より1億3,910万3千円(対前年度比2.91%)増となっている。

(イ) 単年度収支

収支差引額から「基金等繰入金」、「繰越金」、「市町村債」、「基金等積立金」、「前年度繰上充用金」及び「公債費」の影響を除いた単年度収支は、黒字保険者が20(うち市町村保険者が18)、赤字保険者は7(うち市町村保険者が7)であった。

(2) 県

ア 決算の規模

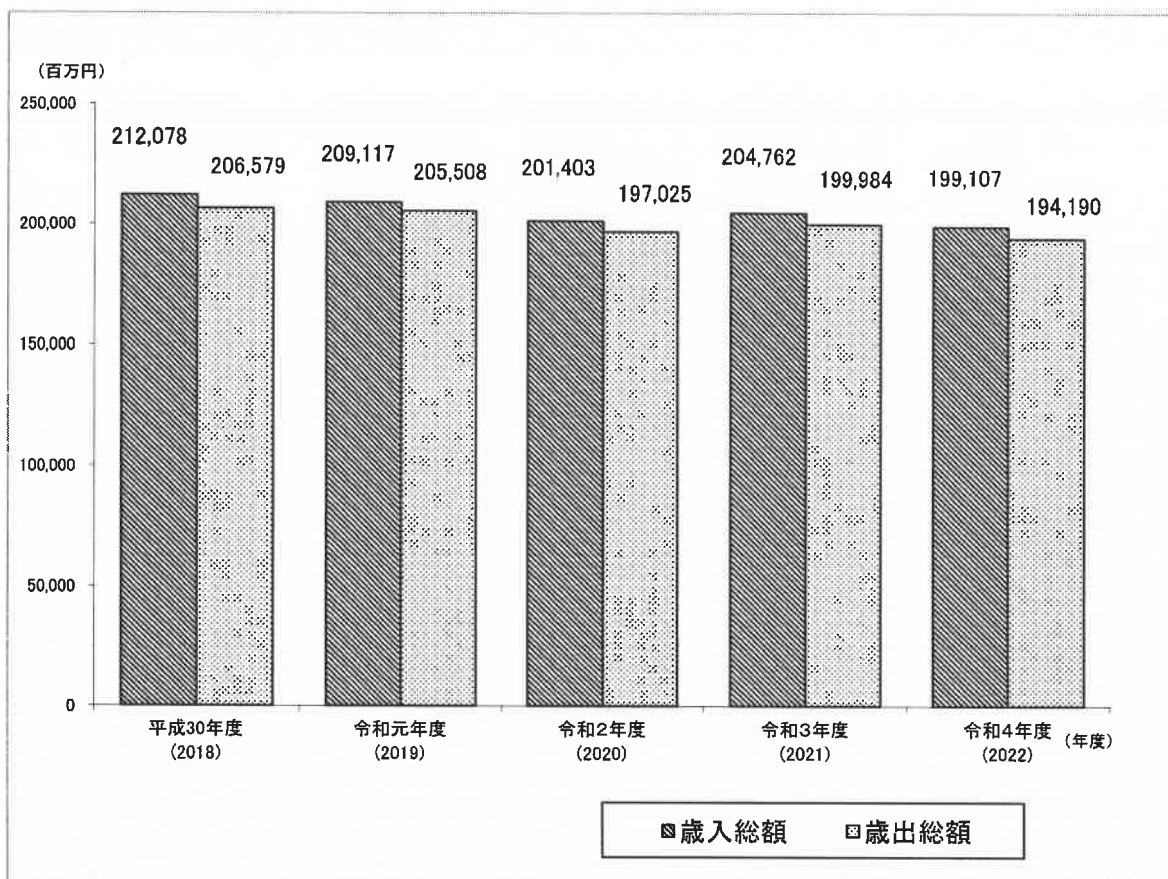
令和4(2023)年度の県(保険者)の決算の規模は、歳入総額が1,908億7,113万7千円で前年度より67億1,400万3千円(対前年度比3.40%)減、歳出総額が1,878億7,101万9千円で前年度より68億4,352万5千円(対前年度比3.78%)増となっている。

イ 決算収支

(ア) 収支差引額

歳入総額から歳出総額を差し引いた収支差引額は、30億11万8千円となっており、前年度より135億5,752万8千円(対前年度比81.88%)減となっている。

図2 国民健康保険決算の推移(市町村)



決算の推移(市町村)

(単位: 千円)

年度	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
歳入総額	212,078,284	209,116,915	201,402,883	204,762,352	199,107,384
歳出総額	206,579,430	205,507,917	197,025,365	199,984,137	194,190,067
収支差引額	5,498,854	3,608,998	4,377,518	4,778,214	4,917,317
単年度収支					
黒字保険者数	14	4	19	18	18
赤字保険者数	11	21	6	7	7

※単年度収支 : 収支差引額から「基金等繰入金」、「繰越金」、「市町村債」、「基金等積立金」、「前年度繰上充用金」及び「公債費」の影響を除いたもの。